

令和6年度『議会だよりモニター会議』

実施報告書

令和6年7月31日に開催した議会だよりモニター会議の実施概要について、別紙のとおりご報告いたします。

令和6年8月23日

横手市議会議長 小野 正伸 様

広報広聴委員会広報分科会

分科会長 宮川 拓也

副分科会長 林 一輝

委員 加藤 勝義

委員 寿松木 孝

委員 加藤 雄太

委員 土田 百合子

令和6年度『議会だよりモニター会議』 実施報告書

■開催日時 令和6年7月31日（水） 18:00～ 19:30

■開催場所 横手市役所 5階第1委員会室

■参加人数 モニター2人、広報分科会委員5名

《実施方法》

意見交換内容は以下のテーマで行った。

- ・議会だよりに求められていることは
市民が議会だよりに期待していること、知りたいことは何か（特集記事の必要性など）
- ・議会だよりの内容について（改善すべき点、どんな記事を読みたいかなど）
- ・議会からの情報発信の方向性は（発行時期、紙での配布の必要性、WEB（Facebook・インスタ含む）の活用など）

以上の内容について、参加者に事前に伝えたくて会議にご参加いただいた。

なお、意見交換は2グループに分かれ、小グループ形式で行った。

《意見交換内容》

グループ①

テーマ「議会だよりに求められていることは」

- ・議会だよりは、市報よりも詳しい情報が報じられる。市報と内容が異なっているところがよい。
- ・特集記事は市民が知りたい情報が書かれており、必要だと思う。
- ・行政視察報告は、市民にとって他自治体の事例を知る貴重な機会であり、もっと詳しい情報を掲載するべき。

テーマ「一般質問記事の在り方について」

- ・QRコードのリンク先がダイレクトにその記事に飛ばず、全体ページからまたその記事を探さないといけない。

テーマ「議会だよりの内容について」

- ・なぜ議員になったかなど、議員の人柄が分かる記事があると、より議会に親しみが持てる。
- ・「賛否が分かれた議案と審議結果」の欄には賛成や反対の理由が書かれておらず、その理由を知ることができない。



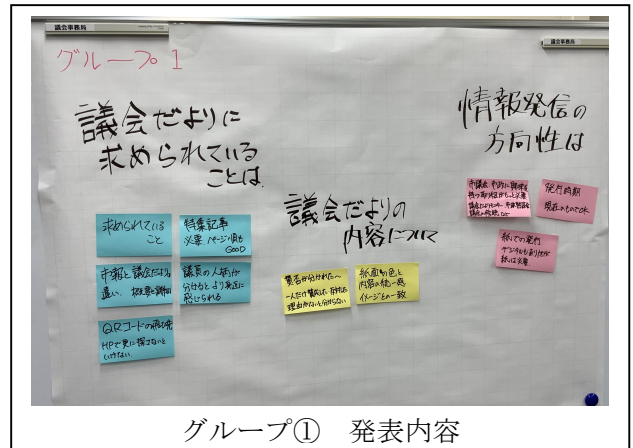
グループ① ディスカッションの様子

テーマ「議会からの情報発信の方向性は」

- ・議会だよりには速報性は求めている。それよりも充実した内容とすることが重要。
- ・SNSを活用するのであれば、それを見て議会だよりを読みたいと思う人が増えるような工夫が必要。

その他の意見

- ・高校生モニターとともに会議を行うことで、更に多角的な視点で議論を行うことができそう。



グループ① 発表内容

グループ②

テーマ「議会だよりに求められていることは」

- ・他の記事よりも特集記事の注目度は高い。大森浄化センターのように連続して記事が載ると、議会で注目されている内容ということが分かる。
- ・どの議員がどの分野に強いのかなどもう少し議員の人となりを知りたい。
- ・議会、議員の動きが伝わりづらいので、議会だよりはそれを伝える大事なツール。

テーマ「一般質問記事の在り方について」

- ・目次(リード文)があると誰がどのような質問をしたか一目瞭然で分かるので有難い。
- ・記載内容、文章量ともに今のままで良い。

テーマ「議会だよりの内容について」

- ・横文字や専門用語は注釈がないと分からないものが依然として多々ある。議案名など修正出来ないもの以外は、他の言葉に入れ替えるなどの配慮も必要ではないか。

テーマ「議会からの情報発信の方向性は」

- ・議会だよりの発行が3か月に一回なので、その間の議会の情報をFacebookや他のSNSで発信すべきではないか。
- ・紙媒体のみだと誰がどれだけ読んでいるか分からない。SNSを活用して把握してはどうか。

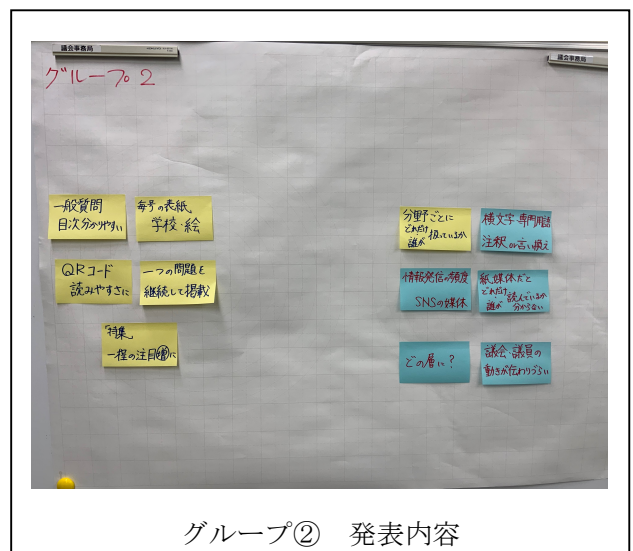
その他の意見

- ・どの層に(誰に)読んでもらいたいか的大事ではないか。
- ・以前提案したことがその後どうなったかフィードバックが無く分からない。

以上、報告いたします。



グループ② ディスカッションの様子



グループ② 発表内容